

# 一般社団法人 鳥取県作業療法士会

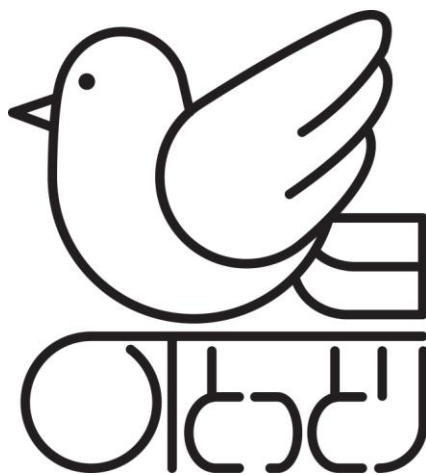
## 令和5年度 定時社員総会

### 議 案 書

期日：令和 5年 5月 21日（日） 10:00～11:00

会場：まなびタウンとうはく

(東伯郡琴浦町大字徳万266-5 TEL:0858-52-1111)



一般社団法人鳥取県作業療法士会

事務局 YMC A米子医療福祉専門学校作業療法士科 内

〒683-0825 鳥取県米子市錦海町 3-3-2

TEL : 080-2930-5010

E-Mail : jim@tottori-ot.or.jp

## 総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議 長 選 出
3. 会 長 挨 拶
4. 定 足 数 報 告
5. 書 記 任 命
6. 決 議 事 項
  - 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告書承認の件
  - 第 2 号議案 令和 4 年度決算報告書承認及び監査報告の件
  - 第 3 号議案 役員改選（役員選出）の件
  - 第 4 号議案 その他
7. 報 告 事 項
  - 令和 5 年度 事業計画及び予算
8. そ の 他
9. 議長、書記解任
10. 閉会のことば

### 目 次

総 会 次 第	. . . . .	1
決 議 事 項	第 1 号議案 令和 4 年度事業報告承認の件 . . . . .	2
	事務局 . . . . .	2
	財務部 . . . . .	3
	規約委員会 . . . . .	4
	倫理委員会 . . . . .	4
	総会議事運営委員会 . . . . .	4
	選挙管理委員会 . . . . .	4
	渉外部 . . . . .	5
	広報部 . . . . .	6
	事業部 . . . . .	6
	学術部 . . . . .	8
	教育部 . . . . .	9
	領域対策部 . . . . .	11
	地域包括ケアシステム対策委員会 . . . . .	12
	認知症対策委員会 . . . . .	14
	その他 . . . . .	16
	第 2 号議案 令和 4 年度決算報告書承認及び監査報告の件 . . . . .	17
	財産目録 . . . . .	18
	貸借対照表 . . . . .	18
	令和 4 年度決算書 . . . . .	19
	正味財産増減計算書 . . . . .	28
	監査報告書 . . . . .	30
	第 3 号議案 役員改選（役員選出）の件 . . . . .	31
	第 4 号議案 その他 . . . . .	31
報 告 事 項	令和 5 年度事業計画及び予算	
	事務局 . . . . .	32
	財務部 . . . . .	32
	規約委員会 . . . . .	33
	倫理委員会 . . . . .	33
	総会議事運営委員会 . . . . .	33
	選挙管理委員会 . . . . .	33
	広報部 . . . . .	33
	事業部 . . . . .	34
	学術部 . . . . .	34
	教育部 . . . . .	35
	地域包括ケアシステム委員会 . . . . .	36
	認知症・メンタルヘルスケア推進委員会 . . . . .	37
	こども発達支援推進委員会 . . . . .	38
	令和 5 年度予算書 . . . . .	39
	県士会組織図 . . . . .	42

# 第1号議案 令和4年度 事業報告書承認の件

## 令和4年度 事業報告

### 【管理運営部門】

#### ◎事務局

##### 1. 会議の開催

- (1) 令和4年度定時社員総会：令和4年5月15日(日) 倉吉未来中心セミナールーム
- (2) 理事会：第1回 令和4年4月16日(土) サンライズひえづ及びWeb  
第2回 令和4年5月15日(日) 倉吉未来中心セミナールーム及びWeb  
第3回 令和4年7月16日(土) サンライズひえづ及びWeb  
第4回 令和4年9月24日(土) YMCA 米子医療福祉専門学校及びWeb  
第5回 令和4年11月26日(土) サンライズひえづ及びWeb  
第6回 令和5年1月14日(土) サンライズひえづ及びWeb  
第7回 令和5年3月5日(日) サンライズひえづ及びWeb
- (3) 事務局会議：メール等での連絡のみで業務遂行実施できたため、会議は開催していない
- (4) 三役会議：第1回 令和4年11月26日(土) サンライズひえづ及びWeb  
第2回 令和4年12月15日(木) YMCA 米子医療福祉専門学校

##### 2. 会員管理

###### (1) 会員の入退会管理

入退会状況 (令和5年3月31日現在)

会 員 数					異 動 届		
正会員	自宅	休会	入会	退会	勤務先変更	転出	転入
543名	20名	4名	20名	25名	25件	5件	5件

※うち22名、会費未納による退会

- (2) 賛助会員への対応：1件/(株)gene (R4年度賛助会員、R5年度は辞退の予定)
- (3) 入会促進活動：2月末に県内養成校(2校)へ入会案内を送付

##### 3. 文書管理

###### (1) 内外文書の受取・保管 (令和5年3月31日現在)

総数	会員	OT協会	他士会	行政(県・市)	その他県内団体	その他
262件	26件	9件	117件	11件	58件	41件

###### (2) 会員への情報配信 (令和5年3月31日現在)

各部局からの連絡、ホームページ更新情報を会員へ一斉メール配信/22件

##### 4. 作業療法士に関する全国組織との連携

###### (1) 日本作業療法士協会

- ① 日本作業療法士協会 2022年度定時社員総会  
令和4年5月28日(土)Web開催/鳥取県代議員(永見忠志、土井宣幸、梅津清司郎)
- ② 47都道府県委員会(年4回/Web開催)  
第1回 令和4年6月11日(土)/段敬史、永見忠志、土井宣幸  
第2回 令和4年9月10日(土)/段敬史、土井宣幸、菊本理恵  
第3回 令和4年12月10日(土)/出席者なし  
第4回 令和5年3月11日(土)・12日(日)/段敬史、永見忠志、菊本理恵
- ③ 日本作業療法士協会からのアンケート等の回答/2件
- ④ 協会員=士会員について適宜情報交換等実施

##### 5. その他法人の管理運営に関すること

- (1) コロナ禍における一般社団法人の運営等について情報収集
- (2) 法人市民税・県民税：減免申請手続きを行い、令和3年度分全額免除
- (3) 他県士会、他団体等からの問い合わせ対応
- (4) 弁護士顧問契約に関する諸手続き：手続きの実施と弁護士相談(年2回)
  - ① 令和4年4月25日(月) プライバシーポリシーの変更、個人情報と著作物の取り扱いについて

②令和5年2月7日(火) 個人情報の安全管理措置について、選挙開催方法について  
 (5)法令、制度変更に伴う書類等の見直し

①プライバシーポリシーの変更：R4年5月1日改訂

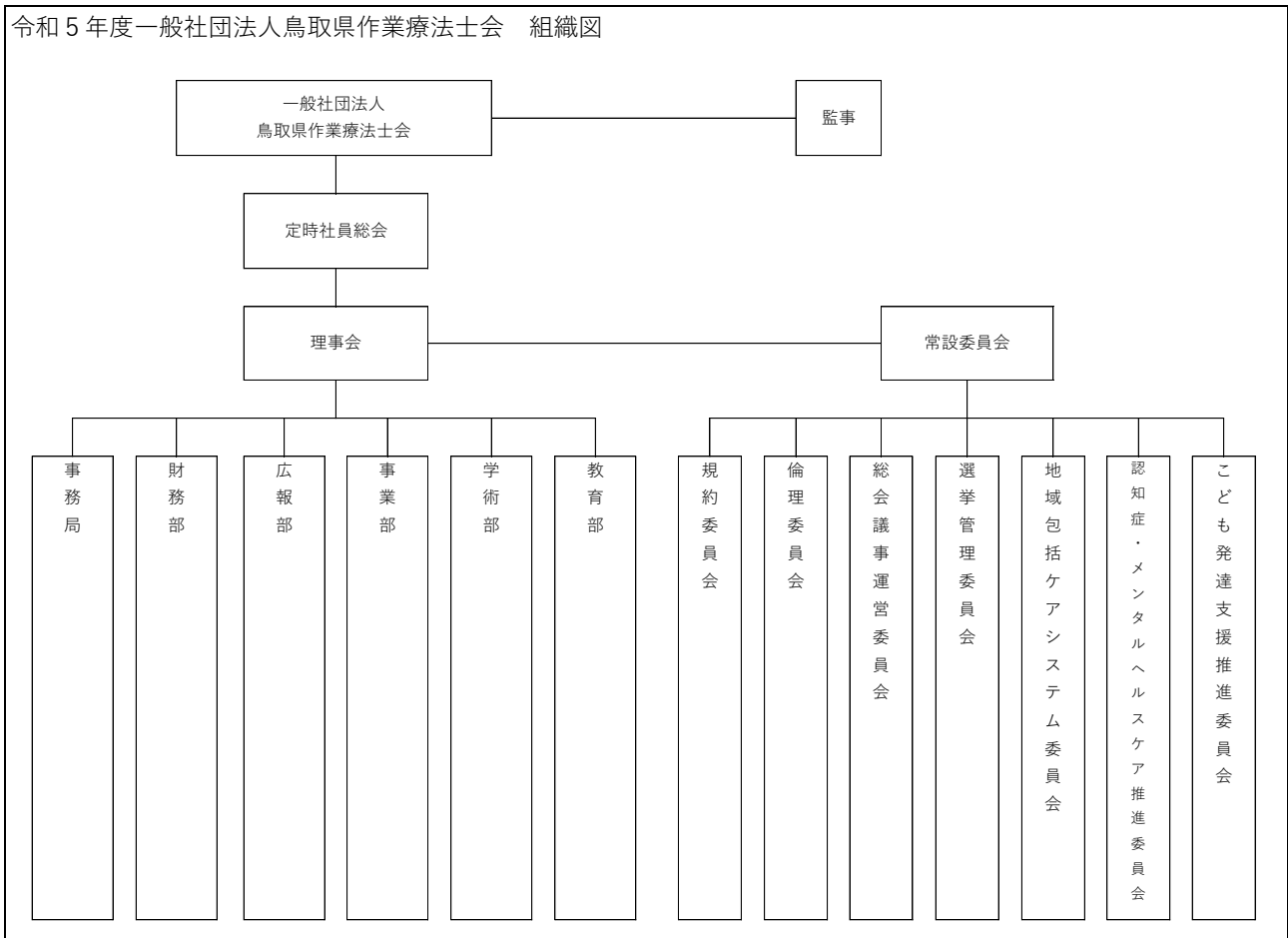
②個人情報の安全管理措置に関するチェック表の作成：R5年度より各部・委員会で運用

6. その他

(1)公告方法の変更に伴う変更登記の実施

(2)組織体制の見直し

特設委員会の継続と併せて組織体制の見直しを実施。現在各部、委員会が担っている業務も踏まえ、次年度以降は以下組織体制として運営していく。



◎ 財務部

1. 会費徴収について

(1)会費徴収

①会員数：543名（内休会中4名、納入後の退会者は含まず）

②会費納入者数：520名（他県士会での納入、納入後の転出者含む）

③会費未納者数：18名（休会中4名含まず）

④徴収率：96%

(2)未納者への督促

①ホームページへ案内や県士会ニュースへ未納者の会員番号（OT協会）を掲載

②令和4年12月に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施

2. ボランティア保険加入手続き

103名の加入手続きを行った

3. 備品管理台帳の更新と各部備品の管理

各部から備品情報を収集し備品管理台帳を更新した

4. 予算事務に関する特記事項

令和4年度(1)について計上した予算は決算書のとおり執行した

(2)については参加希望者が見込めなかったため執行せず

## ◎ 規約委員会

1. 規約委員会の開催  
特になし
2. 施行則・規定内容の追加・修正、削除の作業及び問い合わせ  
(1)費用弁償規程の変更について（食糧費の弁当代変更）  
一食当たり¥700（必要に応じて上限¥1,000）→ 一律1,000円へ変更
3. 各専門部との連携  
特になし

## ◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演  
(1)期日：令和4年6月26日 11:10～12:40  
(2)会場：オンライン開催  
(3)講師：長田貴徳氏（尾崎病院）
2. 相談への対応  
(1)相談件数：0件
3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携  
(1)一般社団法人日本作業療法士協会倫理委員会への報告はなし

## ◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書の作成。※議事録の作成（事務局）
2. 定時社員総会の開催  
(1)期日：令和4年5月15日（日） 10:00～11:00  
(2)会場：倉吉未来中心 セミナールーム7  
(3)内容：令和3年度事業報告書承認  
令和3年度決算報告書承認及び監査報告  
令和4年度事業計画及び予算  
(4)正会員総数：541名（令和4年4月1日現在）  
出席正会員数：283名（会場出席19名、書面採決・委任状出席264名）  
定款の変更に伴い、総社員の3分の2の出席もあり、開催に  
対して影響はなかった。  
議長：野島病院 河田 修氏  
書記：老健うつぶき 綾女 智明氏、西村 友希氏

## ◎ 選挙管理委員会

1. 委員会開催（計3回）  
(1)期日：令和4年10月12日、12月26日、令和5年1月30日  
(2)内容：委員会業務引継ぎ 令和5年度鳥取県作業療法士会役員候補者選挙準備
2. 選挙方法について検討  
届け出、投票方法等について（ネット活用なども含め）
3. 鳥取県作業療法士会役員候補者選挙の公示  
(1)役員候補者選挙の公示  
①方法：鳥取県作業療法士会ホームページ掲載  
②期間：令和5年1月21日～2月20日  
立候補者：理事14名  
(2)理事会報告  
①立候補者結果報告  
②定数を満たせず、理事会へ推薦者の要請報告（理事2名）

## 【事業部門】

### ◎ 渉外部

#### 1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること

##### (1) 鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整

###### ①令和4年度介護専門職研修事業 研修企画会議出席

令和4年10月7日(金)、令和5年3月6日(月) 中島直(尾崎病院)

###### ②介護専門職研修講師調整

###### i 「高齢者と楽しむレクリエーション」

令和5年2月7日(火) オンライン研修

坂本一郎(さとに田園クリニック) 福田晴菜(ふしの白寿苑)

令和4年11月1日(火) 福祉人材研修センター

坂本一郎(さとに田園クリニック) 本多 政志(老健すこやか)

令和4年12月20日(火) 淀江文化センター 金山 雄気(仁風荘)

###### ii 「高次脳機能障害」

令和4年9月16日(金)、11月25日(金) オンライン研修 井尾政美(三朝温泉病院)

##### (2) 特別支援教育への協力

###### ①会員、学校との連絡調整、実施集計など

###### i. センターの機能充実事業

鳥取養護学校 10回30件 来間寿史(デイサービスつむぎ通所発達支援)

白兎養護学校 30回83件 土肥繁樹

倉吉養護学校 12回22件(研修含) 来間寿史(デイサービスつむぎ通所発達支援)

倉吉養護学校 6回27件 西村純一(清水病院)

米子養護学校 11回約55件 門脇達也(養和病院)

###### ②県、市町村教育委員会との協力連携調整

県教育委員会訪問 令和5年2月15日(水)

来間寿史(デイサービスつむぎ通所発達支援) 谷口弘(中部療育園)

会員のセンター的機能充実事業への協力などについての意見交換。

###### ③日本作業療法士協会との連携

教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会

令和5年1月29日(日) 9:00~11:30 /Web参加

作業療法士の教育領域への参画に関する最近の話題と各都道府県の作業療法士の取り組みや参画状況についての意見交換

来間寿史(デイサービスつむぎ通所発達支援)、門脇達也(養和病院)、谷口弘(中部療育園)

###### ④その他

特別支援教育への作業療法士の活用について文書発送

県内教育委員会、小学校、中学校、特別支援学校 213通

##### (3) YMCA 米子医療福祉専門学校入学式、卒業式

入学式 コロナ対応、(来賓不参加)により不参加

卒業式 令和5年3月7日(火) 段敬史(サンライズ名和)

##### (4) 若草学園協力

対象児支援、学園職員研修20回 来間寿史(デイサービスつむぎ通所発達支援)

##### (5) 学童保育鳥取県連絡協議会との連携協力

連絡協議会会員への作業療法についての研修は先方の都合により不開催

##### (6) 鳥取県障がい者スポーツ協会との連携 イベントなどホームページ不掲載

##### (7) 日本筋ジストロフィー協会鳥取県支部 療育キャンプ協力 コロナ禍により中止

##### (8) 中部ふるさと連合 介護認定審査会委員調整 福井由香里(ル・サンテリオン) 山田千恵(清水病院)

##### (9) 障害者総合支援審査会関係団体等連絡調整会議

令和4年12月14日(水) 坂本 一郎(さとに田園クリニック)

障害者総合支援審査委員選出 逸見 美樹(鳥取医療センター)

## 2. 作業療法士の職務拡大に関すること

### (1) 外部協力調査

令和4年7月、8月、令和5年1月実施（1月は「作業療法士としての地域活動調査」に名称変更）

## ◎ 広報部

### 1. 士会ニュース

#### (1) 発行回数：計4回

発行月（発行号数）

2022年6月（115号）、2022年8月（116号）、2022年11月（117号）、2023年2月（118号）

#### (2) 内容について

- ・レイアウトの変更、広報部内の運用方法の変更を実施。
- ・印刷、封入方法の見直しを実施。コスト削減のためネット印刷。  
士会会員が負担することのないように封入作業は外部委託（SOI STANCE）へ。
- ・新入会員の紹介コーナーは個人情報に関わる現状を鑑みて廃止。

### 2. 広報資料取り寄せ

2022年度は実施せず。

### 3. 啓発・広報活動

#### (1) 資料配布：養成校向け

2022年度は実施できず、次年度以降へ。

#### (2) 啓発活動

- ・WEB座談会：内容について再考、未実施。

#### (3) 県民への啓発

検討中。

#### (4) 作業療法推進月間

実施せず。

### 4. 広報媒体の管理・運用

#### (1) 鳥取県作業方法士会ホームページ (<https://tottori-ot.or.jp/>)

①記事掲載数：52件（2022年4月1日～2023年2月19日）

#### ②運用について

- ・メインページレイアウトを変更

#### (2) SNSの活用準備

- ・新規アカウント開設 Google
- ・広報部管理アカウント 公式LINE、Twitter、Google

### 5. 日本作業療法士協会との連携

今年度は会議の開催なし。

### 6. データ管理委員会

活動なし。

### 7. その他

- ・県士会活動でのアカウント情報の管理状況を集約
- ・広報活動を行いやすくするために各サービスのアカウントを開設  
Dropbox、クロネコヤマトビジネスメンバーズ、プリントパック

## ◎ 事業部

### 1. 訪問リハ・地域リーダー会議

(1) 期日：令和4年5月21日（土）

(2) 開催形式：ZOOMを使用したWeb形式

(3) 参加者：川上紘司（地域リーダー 所属；錦海リハビリテーション病院）

(4) 内容：同時改定に向けた各協会代表からのメッセージ、これまでの制度化の取り組み、今後の展開

### 2. 臨床実習指導者講習会

(1) 期日：令和4年12月17日（土）、18日（日）

(2) 会場：鳥取県中部医師会立 三朝温泉病院（東伯郡三朝町山田 690）

上記会場をキー局として、Web形式で開催。

(3)受講者数：52人

(4)内容：臨床実習指導者講習会運営マニュアルに準ずる

(5)講師：高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）、菊本理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）、川上紘司（錦海リハビリテーション病院）  
原田伸吾（株式会社つむぎ）、梅津清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
宮崎篤（済生会境港総合病院）、松本周三（三朝温泉病院）、中村貴紀（三朝温泉病院）

(6)世話人：梅津清司郎（YMCA 米子医療福祉専門学校）、菊本理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）、幸田真（倉吉病院）  
小山雅之（SOI STANCE）、高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
竹谷豊（のじま）、中村貴紀（三朝温泉病院）  
原田伸吾（株式会社つむぎ）、平野正樹（錦海リハビリテーション病院）  
松本周三（三朝温泉病院）、宮崎篤（済生会境港総合病院）  
川上紘司（錦海リハビリテーション病院）、景山直史（皆生温泉病院）  
中島直（尾崎病院）、長谷川徹（はまなす）、三浦純（三朝温泉病院）

(7)実行委員：小山雅之（SOI STANCE）、北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）  
高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）、菊本理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）  
松本周三（三朝温泉病院）、川上紘司（錦海リハビリテーション病院）

(8)事前通信テスト

期日：令和4年12月4日（日）

参加者：松本周三（三朝温泉病院）、北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）、  
川上紘司（錦海リハビリテーション病院）、長谷川徹（はまなす）

受講者：48名

### 3. 中国地区作業療法士会合同研修会（島根県主催）

(1)期日：令和5年2月5日（日）

(2)開催方法：リモート研修（Zoom）

(3)内容：クローズド研修

テーマ：①学会運営と学術活動の現状・課題

②市町や保健所との連携に関する現状・課題

③士会で取り組む、精神科作業療法における現状・課題

④協会が進める「協会員=士会員」に向けた具体の検討と課題について

⑤養成教育と卒後研修の連携に関する現状・課題

オープン研修

テーマ：地域共生社会の実現に向けた協会事業と士会・会員に期待すること

講師：中村 春基 先生（一般社団法人 日本作業療法士協会 会長）

(4)クローズド研修出席者：段敬史（介護老人保健施設 サンライズ名和）、田住秀之（YMCA 米子医療福祉専門学校）、高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）、菊本理恵（YMCA 米子医療福祉専門学校）、永見忠志（皆生温泉病院）、小山雅之（SOI STANCE）、北山朋宏（錦海リハビリテーション病院）、山本未来（錦海リハビリテーション病院）、幸田真（倉吉病院）、池淵歆斗（米子病院）

### 4. 訪問リハビリテーション実務者研修会

特になし

### 5. その他

(1)総会後研修会

①期日：令和4年5月15日（日）

②開催方法：現地とWebのハイブリット形式

③内容：県士会活動を行うにあたって必要な法的知識～著作物や個人情報取り扱いを中心に～

講師：弁護士 橋澤加世 先生（米子東町法律事務所）

生涯教育制度について

講師：北山朋宏（教育部長、所属；錦海リハビリテーション病院）

(2)福祉用具相談支援システム合同業務連絡会



①内容：Web システムにて、毎月の活動状況の報告

## ◎ 学術部

### 1. 第 18 回鳥取県作業療法学会

(1)会期：令和 4 年 11 月 5 日（土）・6 日（日）

(2)会場：鳥取県立福祉人材研修センター・Zoom 利用でのハイブリッド開催

(3)内容：

①学会テーマ：「パートナーシップを結んで誰 1 人取り残さないまちづくり～SDGs と作業療法の親和性を考える～」

②学会長講演：下石勝哉（株式会社つむぎ）

③特別講演：田村浩介（株式会社いきがいきクリエーション 作業療法士）、坂本哲（株式会社アクシス）、仲地宗幸（合同会社キングコング代表 作業療法士）、川口寿弘（鳥取市中央人権福祉センター）、田中野恵（鳥取県令和新時代創造本部政策戦略監新時代・SDGs 推進課）

④イベント：SDGs タウン（出展企業…株式会社 AXIS、株式会社ヌック、株式会社マツワ、株式会社つむぎ、バンメル鳥取、鳥取ヤクルト、トリセフ×若者ネットワーク）

⑤一般演題：8 演題（口述発表）

参加者内訳：参加者：158 名（内訳：OT 121 名（発表者名含む）、他職種 3 名、学生 34 名）

作業療法士の参加は鳥取県士会員の参加 105 名、中国 4 県（鳥取除く）11 名、その他 5 名であった。学生は現地参加 22 名であった。オンラインも含む学生の学科内訳は作業療法士課程 22 名（YMCA 4 名、島リハ 5 名、鳥取市医療看護 10 名、東京工科大学 1 名、北里大学 1 名、国際医療福祉大学 1 名）、看護過程 10 名（鳥取市医療看護）、課程不明 2 名（鳥取市医療看護）であった。

(4)実行委員：

学会長	下石勝哉（株式会社つむぎ）
実行委員長	長田 啓（株式会社つむぎ）
副実行委員長	原田伸吾（株式会社つむぎ）
広報・接待	小林 楽（ウエルフェア北園渡辺病院）
広報・接待	鳥飼桃子（株式会社つむぎ）
会計	衣笠真理恵（鳥取県立中央病院）
会場	福代 淳（さとに田園クリニック）
学会誌	藤原礼奈（鳥取生協病院）
演題	西村佑子（鳥取生協病院）
査読	池淵欽斗（米子病院）
Web/Zoom	山本未来（錦海リハビリテーション病院）
学術部長/広報	高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

### 2. 第 19 回鳥取県作業療法学会

(1)学会長の選出：※事業計画に掲載

(2)実行委員会委員の選出：※事業計画に掲載

(3)実行委員会の開催：第 1 回実行委員会（2022 年 11 月 21 日 Zoom にて）  
第 2 回実行委員会（2023 年 2 月 9 日 Zoom にて）

### 3. 査読委員会

(1)査読委員：池淵欽斗（米子病院）、松本周三（三朝温泉病院）、  
宮脇淳（米子東病院）、平野正樹（錦海リハビリテーション病院）、  
高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

(2)内容

①査読委員会の開催：2022 年 7 月 6 日 Zoom にて

②査読者登録制度の作成

③査読者の登録および管理

④査読者の選定と査読依頼

⑤査読結果の集約：採択・不採択の最終判断は、学会長と査読委員長との協議で行った

⑥県学会演題採択に関する投稿規定作成および修正

#### 4. テーマ別勉強会

##### 開催状況

地区	テーマ別勉強会	開催回数	決算額 (円)
(1) 東部地区	東部地区全般勉強会	1	6,000
(2) 東・中部地区	特別支援教育 (東部・中部)	0	0
(3) 中部地区	中部精神科勉強会	3	9,000
	中部地区合同勉強会	0	0
(4) 西部地区	西部精神科勉強会	0	0
	西部福祉用具・住環境勉強会	0	0
	CVA 勉強会	4	0
	作業を考える会	0	0
	特別支援教育 (西部)	1	0
総計		9	15,000

※依然新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の状況により開催回数は少ないが、Zoom を用いた勉強会など新たな工夫も見られた。

#### ◎ 教育部

##### 1. 生涯教育制度に関する管理

(1) ホームページ「生涯教育手帳の移行手続きが始まりました」更新あり

(2) 生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新

県士会名簿更新時、基礎研修開催時、事務局からの連絡時等に随時実行. 認定OT10名

(3) 基礎研修ポイント管理・発行

① 士会裁量基礎研修ポイント集計・発行予定

② 現職者選択研修会ポイント発行

③ 鳥取県作業療法学会ポイント発行

④ 基礎研修会 (士会主催及び共催) ポイント発行

##### 2. 生涯教育制度に関する開催

(1) 現職者共通研修会

期日と会場	区分	テ ー マ	講 師	認定数
① 前期 6月26日(日) Web 研修	I	作業療法生涯教育概論	北山朋宏：錦海リハ病院	13
		職業倫理	長田貴徳：尾崎病院	14
	III	作業療法における協業・後輩育成	田住秀之：YMCA 米子	15
		保健・医療・福祉と地域支援	長谷川徹：はまなす	15
② 後期 10月16日(日) YMCA 米子医療 Web 研修	II	作業療法の可能性	宮城直子：	14
		事例報告と事例研究	梅津清司郎：YMCA 米子	13
	IV	日本と世界の作業療法の動向	藤田恵子：セラトピア	11
		実践のための作業療法研究	高梨悠一：YMCA 米子	11

##### 3. 生涯教育に関する研修会等の認定

(1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定 (テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼)

地区	テーマ名	件数 (前年度)
東部	全 般	0(0)
中部	中部合同	0(1)
	精 神 科	0(0)
西部	作業を考える	0(0)
	C V A	3(1)
	社会資源	0(0)
	治療演習ADL分析	0(0)
	精 神 科	0(0)
計		3(2)

(2)基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）

(3)SIG等登録認定（SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）なし

#### 4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

(1)生涯教育制度推進担当者会議会（Web会議）出席5月26日、1月21日 参加：北山朋宏  
・研修システム（基礎研修ポイント申請）について情報を得た。

#### 5. 会員への情報伝達

##### (1)県士会ニュースへの掲載

- ・前期現職者共通研修会（Ⅰ・Ⅲ）のご案内
- ・後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内
- ・生涯教育手帳の移行について（再）

##### (2)ホームページへの掲載

- ・前期現職者共通研修会（Ⅰ・Ⅲ）のご案内
- ・後期現職者共通研修会（Ⅱ・Ⅳ）のご案内

#### 6. 他部との連携・協力

- (1)学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
- (2)事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
- (3)領域対策部：現職者選択研修会など
- (4)事務局：会員管理事務など
- (5)特設委員会：士会主催研修会など

### ◎ 生活行為向上マネジメント委員会

#### 1. 令和4年度鳥取県地域医療介護総合確保基金

介護予防の推進に資するOT,PT,ST指導者育成事業、生活行為向上マネジメント啓発事業

補助金合計：¥542,000

#### 2. 生活行為向上マネジメント委員会の開催

##### (1) 全県委員会

第1回：令和4年5月18日      第2回：令和4年6月14日      第3回：令和4年7月20日  
第4回：令和4年8月25日      第5回：令和4年11月24日      第6回：令和5年1月10日  
第7回：令和5年2月13日

##### (2)業務内容

##### ①生活行為向上マネジメント研修会 企画・運営

生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理

##### i) 研修会前WEB通信テスト

令和4年11月3日

##### ii) 研修会事前打ち合わせ会

第1回：令和4年11月9日      第2回：令和4年12月14日      第3回：令和5年1月10日

## ②生活行為向上マネジメント広報活動

特になし

## ③生活行為向上マネジメント指導者養成

### i)出張派遣

- ・生活行為向上マネジメント全国推進会議(WEB)
  - 第1回：令和4年6月22日  
参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉病院）  
鬼木徳子（やわらぎ）中村貴紀（三朝温泉病院）
  - 第2回：令和4年10月19日  
参加者：松本周三（三朝温泉病院）、清水里江子（尾崎病院）  
中村貴紀（三朝温泉病院）、鬼木徳子（やわらぎ）
  - 第3回：令和5年2月15日  
参加者：松本周三（三朝温泉病院）、鬼木徳子（やわらぎ）  
清水里江子（尾崎病院）、中村貴紀（三朝温泉病院）
- ・中国ブロックMTDLP協議会(WEB)
  - 第1回：令和4年4月18日  
参加者：土井宣幸（はまかぜ）、松本周三（三朝温泉病院）  
高橋博子（藤井政雄記念病院）、鬼木徳子（やわらぎ）  
清水里江子（尾崎病院）、竹谷豊（のじま）
  - 第2回：令和4年8月30日  
参加者：松本周三（三朝温泉病院）、中村貴紀（三朝温泉病院）  
鬼木徳子（やわらぎ）
  - 第3回：令和4年12月13日  
参加者：松本周三（三朝温泉病院）、中村貴紀（三朝温泉病院）  
竹谷豊（のじま）
  - 第4回：令和5年2月15日  
参加者：松本周三（三朝温泉病院）、中村貴紀（三朝温泉病院）  
鬼木徳子（やわらぎ）、清水里江子（尾崎病院）
- ・MTDLPステップアップ研修会(WEB研修)
  - 日 時：令和5年1月21日～1月22日
  - 開催形式：ZOOM
  - 内 容：事例検討会を通して、実践内容を確認するとともに事例登録の視点を身につける。
  - 派遣会員：松本周三（三朝温泉）、高橋博子（藤井政雄記念病院）、清水里江子（尾崎病院）  
**廣田貴紀**（尾崎病院）

### ii) 県内研修会

- ・令和4年度 第1回MTDLP研修会基礎研修(WEB研修)延期分
  - 日 時：令和4年11月12日 9:00～16:50
  - 場 所：ZOOM
  - 参加者：参加者：18名
- ・令和4年度 第2回MTDLP研修会実践者研修(WEB研修)
  - 日 時：令和4年12月4日 9:00～12:30
  - 場 所：ZOOM
  - 参加者：参加者：14名（報告者2名、聴講12名）
- ・令和4年度 第3回MTDLP研修会大研修(WEB研修)
  - 日 時：令和5年2月5日 9:00～17:00
  - 場 所：ZOOM
  - 参加者：参加者：25名（他県士会員10名）

## ◎領域対策部

### 1. 現職者選択研修（精神障害領域）

- (1)期日：令和3年10月10日（日）9:20～16:30

(2)会場：Web 開催

(3)内容：

テーマ1：精神障害作業療法の基礎知識	田住秀之：YMCA 米子医療福祉専門学校
テーマ2：精神障害作業療法の展開方法	幸田 真：倉吉病院
テーマ3：精神障害作業療法の実践	松田祥幸：児童発達支援・放課後デイサービス輝
テーマ4：精神障害作業療法関連のトピックス	松田祥幸：児童発達支援・放課後デイサービス輝

参加者：4名（県内3名、県外1名）

委員：坂本一郎（さとに田園クリニック）、以後翔平（清水病院）、橋本秀次（鳥取医療センター）、石橋恵梨（尾崎病院）、衣笠真理恵（鳥取県立中央病院）、本家寛文（鳥取医療看護専門学校）

## ◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

### 1. 研修会開催

#### (1) 地域包括ケアシステム人材育成別研修会（1回）

- ① 開催日：令和4年12月10日（土曜日）
- ② 講師：永見忠志（皆生温泉病院） 原田伸吾（株式会社つむぎ）  
藤田恵子（老健セラトピア）
- ③ 内容：オリエンテーション  
介護予防活動普及展開事業・地域ケア会議

アセスメント・マネジメントに重要な10項目

災害支援活動における作業療法士の役割  
質疑応答

- ④ 参加者：14名

#### (2) 地域包括ケアシステム大研修会（1回）

- ① 開催日：令和5年1月29日（日曜日）
- ② 講師：永見忠志（皆生温泉病院）、来間寿史（株式会社つむぎ）
- ③ 内容：オリエンテーション  
地域包括ケアシステムの概要について  
学校作業療法について  
質疑応答

- ④ 参加者：17名 介護支援専門委員1名

#### (3) 運転と作業療法研修会（基礎編）

- ① 開催日：令和4年7月31日（日曜日）
- ② 講師：中村貴紀（三朝温泉病院）
- ③ 内容：自動車運転支援における基礎的知識、症例検討：3事例

ファシリテーター：中村貴紀（三朝温泉病院）、岩崎大輔（養和病院）  
原田あゆ美（錦海リハビリテーション病院）  
芦川莉彩（野島病院）

トラブルシューター：幸田真（藤井記念病院）、西東佳奈（三朝温泉病院）  
司会：坂尻信幸（鳥取県立中央病院）  
会計：芦川莉彩（野島病院）

- ④ 参加者20名

#### (4) 運転と作業療法研修会（代償手段編）

- ① 開催日：令和5年2月18日（土曜日）
- ② 講師：岩崎大輔（養和病院）
- ③ テーマ：移動支援における代償手段アプローチについて
- ⑤ 内容：アンケート結果報告
  - 代償手段の種類と支援ポイント
  - 事例紹介 「自転車事例：通所で関わったケース」
  - グループワーク「移動支援についての課題」
  - ファシリテーター：中村貴紀（三朝温泉病院）、中島 直（尾崎病院）
  - 原田あゆ美（錦海リハビリテーション病院）
  - トラブルシューター：幸田真（藤井政雄記念病院）、
  - 太田奈央（野島病院）、芦川莉彩（野島病院）
  - 総括：岩崎大輔（養和病院）
  - 司会：坂尻信幸（鳥取県立中央病院）

⑥参加者：11名

## 2. 災害時対応

### (1) 日本作業療法士協会災害シミュレーション実施

令和4年9月25日実施

方法：Google フォーム

対象：鳥取県作業療法士会理事会役員

結果：Google フォームを利用したことにより安否確認のしやすさを感じた。

課題：一般会員を対象とした安否確認の実施が可能かを検討していく。

会員相互の連絡・報告システムの作成を検討

災害時マニュアルの作成検討

### (2) 他県士会・多団体との災害時連携の確認（徳島県・POST・JRAT など）

2022年度 鳥取 JRAT 発足 県士会としての協力体制の整備が課題となる

## 3. 地域包括ケアシステム協力体制の整備推進

鳥取県内各市町村における OT 活用状況の調査を実施

また、県内の OT 活用拡充に向けての課題と対策について委員会内で確認した

## 4. パンフレット・チラシ管理

パンフレットとフレイル予防啓発チラシの内容の見直しを実施

パンフレット、フレイル予防啓発チラシ内に使用しているイラストの著作権侵害の確認作業を進めるも

全ての作業終了に至らず、次年度も引き続きの作業実施を予定

## 5. 移動支援アンケート実施

令和4年10月4日ホームページ掲載 各施設に回答協力依頼

令和5年2月18日運転と作業療法研修会（応用編）内でアンケート結果報告

## 6. 担当者会議

### (1) 地域包括ケア委員会

委員会話し合い：8/18 9/12 9/27 10/11 11/8 11/29

中四国ミーティング：5/13 6/21 7/8 9/9 11/11

協会 WEB 研修：6/2 10/30 2/12

自動車運転研修会全体会

全体会議：5/10 7/8 12/13 2/14

地区会議：東部 6/7 中部 5/19 2/〇 西部 6/7 12/27 2/3

## (2) 委員メンバー

全体責任者：永見忠志（皆生温泉病院）

東部委員：原田伸吾（デイサービスつむぎ）、大淵賢一（鳥取赤十字病院）、  
藤原礼奈（鳥取赤十字病院）、湧島恵理（鳥取療育園）

中部委員：藤田恵子（老健セラトピア）、三浦純（三朝温泉病院）

西部委員：村瀬良知（米子脳神経クリニック）、加藤淳美（サンライズ名和）、  
三上将史（山陰労災病院）

災害対策：藤田恵子（セラトピア）、永見忠志（皆生温泉病院）

磯江慎吾（とつとの杜こどもハビリテーションクリニック）

自動車運転研修会企画・実施メンバー

岩崎大輔（養和病院）、中島直（尾崎病院）

佐藤亜美香（ウエルフェア北園渡辺病院）、中村貴紀（三朝温泉病院）

坂尻信幸（鳥取県立中央病院）、太田奈央（野島病院）、

幸田真（藤井政雄記念病院）、河場航（山陰労災病院）

原田あゆ美（錦海リハビリテーション病院）、野々村賢（博愛病院）

西東佳奈（三朝温泉病院）、木下真実（鳥取生協病院）

芦川莉彩（野島病院）、射場靖弘（鳥取大学医学部付属病院）

井上雅人（鳥取県立中央病院）

## 7. 追加事項：令和4年度鳥取県地域医療介護総合確保基金

介護予防の推進に資する OT,PT,ST 指導者育成研修

～介護予防推進に効果的な作業療法士の育成技術を身につける～

補助金合計：¥163,000

## ◎ 認知症対策委員会

### 1. 令和4年度地域医療介護総合確保基金

事業名：チームケアリーダー育成研修事業 助成額：233,000円

### 2. 委員会開催

第1回：令和5年2月19日(日)

### 3. 認知症研修会

#### (1) 第20回認知症研修会

①日 程：令和4年12月11日(日) 10:00～11:30

②講 師：宮口英樹氏(広島大学大学院医系科学研究科教授)

③内 容：認知症支援方法論『食事動作へのリハビリテーションアプローチ』/認知症 VR 体験

④形 態：WEB/対面(YMCA 米子医療福祉専門学校)

⑤参加者：50名(他職種・学生含む)

#### (2) 第21回認知症研修会

①日 程：令和5年2月19日(日) 10:00～11:30

②講 師：河合晶子氏(三重県こころの健康センター)

③内 容：医療領域における認知症の人への支援について

～早期に地域へ移行するための視点・実践的なポイント～

④形態：WEB

⑤参加者：28名

認知症研修会等修了状況(令和5年3月1日現在)

(1)認知症研修6テーマ受講修了者118名/アップデート研修受講修了者171名

(2)認知症初期集中支援チーム員研修受講者6名/伝達講習受講者90名(他職種含む)

#### 4. 全国研修派遣/視察派遣

(1)OT協会制度対策部「士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会」

①日程：令和5年1月29日(日)13:00～16:00/Web

②内容：政府の認知症施策/県士会活動報告(鳥取県)/グループディスカッション

③派遣者：田住秀之(YMCA米子)、山根七恵(倉吉病院)、横尾和也(渡辺病院)

(2)事業協力派遣

・とっとり方式認知症予防プログラム普及啓発事業協力

①協力内容

i. とっとり方式認知症予防プログラム普及啓発事業研修会講師(県内8市町村) 派遣協力4名

ii. 三朝町・北栄町とっとり方式認知症予防教室講師 派遣協力3名

iii. 三朝町「湯の町老人クラブ」とっとり方式認知症予防プログラム研修講師 派遣協力1名

iv. 第10回認知症医療介護推進フォーラムシンポジウム

とっとり方式認知症予防プログラムによる認知症予防の推進派 派遣協力1名

②派遣協力者

田住秀之(YMCA米子)、菊本理恵(YMCA米子)、安井和子(YMCA米子)、藤田恵子(セラトピア)

作野亘(なんぶ幸朋苑)、安井愛美(大山リハビリテーション病院)、清山茜(三朝温泉三喜苑)

・認知症初期集中支援チーム/チーム員会議

①東部：石丸雅崇(渡辺病院)、坂本一郎(さとに田園クリニック)

②中部：梅津清司郎(YMCA米子)、藤田恵子(セラトピア)、池本真一(三喜苑)、幸田真(倉吉病院)、  
大西千香子(訪問リハビリテーションくらよし)

③西部：田住秀之(YMCA米子)、菊本理恵(YMCA米子)

・若年認知症の人と家族の集い「にっこりの会」

①協力内容

i. にっこりの会定例会協力 派遣協力11名

②派遣協力者

i. 東部：横尾和也(渡辺病院)、清水佳子(にしまち幸朋苑)、宮城直子(自宅)

ii. 中部：小南哲(野島病院)、遠藤慎治(野島病院)

iii. 西部：岡野元明(ライオンハート)、形部美那子(錦海リハビリテーション病院)

菊本理恵(YMCA米子)、桐原千賀子(なんぶ幸朋苑)、作野亘(なんぶ幸朋苑)、

・西部ろうあ仲間サロン介護予防教室講師：菊本理恵(YMCA米子)

・南部箕蚊屋広域連合住民向けの「通いの場に活用できる認知症予防」：小竹佳奈(江美の郷)

・中部地区意見交換会：山根七恵(倉吉病院)

・米子市認知症施策を考える会：田住秀之(YMCA米子)

・老健事業認知症予防の実践に向けたガイドライン調査研究事業報告会：田住秀之(YMCA米子)

・RUNTOMO鳥取2022企画：鳥取版1人でRUNTOMO-ソロトモ(SOLOTOMO)

参加人数：106人(延べ人数) 移動距離：134.1324km

RUNTOMO実行委員：岡野元明(ライオンハート)、高梨悠一(YMCA米子)、遠藤慎治(野島病院)他

#### 5. 令和4年度認知症対策委員(14名)

(1)担当理事：田住秀之(YMCA米子)

(2)西部委員：高梨悠一(YMCA米子)、菊本理恵(YMCA米子)、金山雄気(養和病院)

金田まるみ(西伯病院)、岡野元明(ライオンハート)

(3)東部委員：石丸雅崇(渡辺病院)、横尾和也(渡辺病院)、岡田圭祐(ル・サンテリオン鹿野)

(4)中部委員：山根七恵(倉吉病院)、山本麻未(倉吉病院)、小竹佳奈(江美の郷)

遠藤慎治(野島病院)、松本生(三朝温泉病院)



その他

## 第 2 号議案 令和 4 年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録

貸借対照表

令和 4 年度決算書（全体）

令和 4 年度決算書（一般会計）

令和 4 年度決算書（特別会計）

正味財産増減計算表

## 財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額		
資産 の 部	1.流動資産			6,473,388
	1)現金	60,000	60,000	
	2)普通預金	1,510,570		
	普通預金	0		
	普通預金	0		
	普通預金	0		
	普通預金	0		
	普通預金	0		
	普通預金	0		
	普通預金	0		
	普通預金	0		
	普通預金	0		
	普通預金	0		
	普通預金	0		
	普通預金	0		
	郵便振替	4,902,818		
	郵便振替	0	6,413,388	
3)立替金	0	0		
2.固定資産			605,000	
(1)特定資産				
1)啓発グッズ等積立預金	605,000	605,000		
資産合計			7,078,388	
負債 の 部	I.流動負債			555,023
	1)前受金	25,000	25,000	
	2)預り金	530,023	530,023	
	負債合計			555,023
正味財産				6,523,365

鳥取県作業療法士会

## 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	6,473,388	【流動負債】	555,023
現金・預金	6,473,388	前受金	25,000
		預り金	530,023
【固定資産】	605,000	負債合計	555,023
(特定資産)	(605,000)	純資産の部	
啓発グッズ積立預金	605,000	【剰余金】	6,523,365
		啓発グッズ積立金	605,000
		繰越利益剰余金	5,918,365
		純資産合計	6,523,365
資産合計	7,078,388	負債・純資産合計	7,078,388

令和4年度決算書（全体）

自 令和 4年4月 1日  
至 令和 5年3月31日

勘定科目			
大科目	予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,732,000	2,619,000	113,000
研修会収入	620,000	552,333	67,667
補助金等の収入 (特別会計含む)	1,696,487	1,696,487	0
雑収入	1,000	3,462	-2,462
事業活動収入合計(A)	5,049,487	4,871,282	178,205

(単位:円)

2. 事業活動支出			
(1) 管理運営部門			
	予算額	決算額	差額
事務局	899,000	509,775	389,225
財務部	240,000	208,344	31,656
規約委員会	6,000	0	6,000
倫理委員会	2,000	0	2,000
総会議事運営委員会	33,000	49,254	-16,254
選挙管理委員会	27,000	9,150	17,850
(2) 事業費支出			
渉外部	23,000	23,899	-899
広報部	430,000	188,368	241,632
事業部	525,000	413,845	111,155
学術部	739,000	661,138	77,862
教育部	155,000	109,883	45,117
領域対策部	100,000	76,850	23,150
地域包括ケア対策委員会	160,000	16,162	143,838
認知症対策委員会	55,000	9,602	45,398
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	640,223	640,223	0
地域包括ケアシステム研修事業	277,659	278,662	-1,003
チームケアリーダー育成研修事業	677,602	677,602	0
事業活動支出計 (B)	4,989,484	3,872,757	1,116,727
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	60,003	998,525	-938,522

勘定科目	予算額	決算額	差額	備考
中 科 目				
Ⅱ 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計 (D)	0	0	0	
2.投資活動支出			0	
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000	50,000	0	郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)	50,000	50,000	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	-50,000	-50,000	0	
Ⅲ 予備費支出 (G)	200,000	0	200,000	
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	-179,997	948,525	-1,128,522	
前期繰越収支差額 (I)	4,969,840	4,969,840	0	
次期繰越収支差額 (J) = (H) + (I)	4,789,843	5,918,365	-1,128,522	

令和4年度決算書（一般会計）

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年3月31日

勘定科目								備 考
大科目	予算額	決算額	差額	小科目	予算額	決算額	差額	
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
会費収入	2,732,000	2,619,000	113,000	年会費	2,732,000	2,609,000	123,000	5,000円×517名、 4,000×6名
				賛助費	10,000	10,000	0	(株)gene
研修会収入	620,000	552,333	67,667	第18回県学会	300,000	281,000	19,000	参加費 (2,000円×115名、 3,000円×11名) 協賛金(3,000円×6)
				現職者共通研修	60,000	54,000	6,000	500円×108名
				現職者選択研修	80,000	10,000	70,000	2,000円×3名、 4,000円×1名
				臨床実習指導者講習会	180,000	207,333	-27,333	3,000円×49名、 15,000円×4名、 誤納333円
補助金等の収入	100,000	100,000	0	助成金	100,000	100,000	0	県学会助成金
雑収入	1,000	3,462	-2,462	雑収入	1,000	3,462	-2,462	3,447円学術還付金など 15円預金利息
事業活動収入合計(A)	3,453,000	3,274,795	178,205					

## 2. 事業活動支出

### (1) 管理運営部門

(単位:円)

	予算額	補正予算額	決算額	差額	勘定科目	補正予算額	決算額	差額	備考
事務局	920,000	899,000	509,775	389,225	事務用品費	43,000	48,305	-5,305	封筒代、プリンターインク
					通信費	60,000	44,030	15,970	法人携帯使用料、手数料
					会議費	6,000	0	6,000	
					旅費 交通費	475,000	112,500	362,500	理事会交通費64,500円 各種日当37,500円 事務業務交通費1,500円 三役会議交通費6,500円 代表理事活動費2,500円
					需用費	6,000	2,800	3,200	昼食代
					法人税及び事業税	30,000	30,000	0	登記登録免許税30,000円
					顧問料	264,000	264,000	0	弁護士顧問料(22,000円×12か月)
					福利厚生費	15,000	8,140	6,860	電報(祝電)等
財務部	240,000	240,000	208,344	31,656	事務用品費	5,000	3,438	1,562	事務用品(インク代、コピー用紙)
					通信費	21,000	28,147	-7,147	wifi通信料、会計ソフト料など
					旅費 交通費	20,500	19,000	1,500	監査、財務業務、税理、日当など
					需用費	6,500	8,449	-1,949	監査昼食 監査、部会茶菓子代
					相談料	66,000	66,550	-550	税理士相談料、手数料
					保険料	121,000	82,760	38,240	ボランティア保険、手数料
規約委員会	6,000	6,000	0	6,000	事務用品費	1,000	0	1,000	資料ファイル4冊0円
					旅費 交通費	5,000	0	5,000	委員会交通費0円
倫理委員会	2,000	2,000	0	2,000	事務用品費	1,000	0	1,000	事務用品0円
					通信費	1,000	0	1,000	0円
総会議事運営委員会	33,000	33,000	49,254	-16,254	事務用品費	2,500	594	1,906	事務用品594円
					通信費	1,000	1,265	-265	振込手数料1,265円
					報償費	4,000	0	4,000	
					会議費	15,000	5,860	9,140	総会会場費5,860円
					旅費 交通費	7,500	27,400	-19,900	総会、委員会27,400円
					需用費	3,000	14,135	-11,135	茶菓子835円、昼食13,300円
選挙管理委員会	27,000	27,000	9,150	17,850	事務用品費	10,000	0	10,000	
					会議費	0	0	0	
					旅費 交通費	12,000	9,150	2,850	web日当7,500円 手数料1,650円
					需用費	5,000	0	5,000	

## (2)事業運営部門

(単位:円)

	予算額	補正予算額	決算額	差額	勘定科目	補正予算額	決算額	差額	備考
渉外部	24,000	23,000	23,899	-899	事務用品費	1,000	937	63	資料ファイル、印刷用紙代
					通信費	19,300	19,262	38	特別支援教育関係17,892円 協会より資料取り寄せ費1,370円
					旅費 交通費	2,700	3,700	-1,000	県教育委員会訪問1,700円 YMCA米子卒業式交通費500円 筋ジスキャンプ交通費0円 意見交換会(WEB)1,500円
広報部	430,000	430,000	188,368	241,632	事務用品費	27,600	0	27,600	事務用品購入無し0円
					通信費	81,000	49,333	31,667	ATM振込手数料1705円 県士会ニュース送料47,628円
					報償費	56,000	0	56,000	
					会議費	0	0	0	
					需用費	200,000	112,415	87,585	県士会ニュース印刷112,415円
					ホームページ管理費	31,900	26,620	5,280	ドメイン使用、管理26,620円
					旅費 交通費	28,500	0	28,500	
					予備費	5,000	0	5,000	
事業部	525,000	525,000	413,845	111,155	事務用品費	8,000	0	8,000	事務用品0円
					通信費	17,000	1,930	15,070	振込手数料等1,930円
					報償費	210,000	233,850	-23,850	総会后研修:34,000円 実習指導講習:196,000円 手数料3,850円
					会議費	0	0	0	
					旅費 交通費	100,000	41,880	58,120	中国研修:Web会議25,000円 手数料880円 臨床実習:Web会議13,500円 訪問リハ会議:Web会議2,500円
					需用費	85,000	75,360	9,640	実習指導講習昼食:14,700円 実習指導講習:印刷費用53,000円 手数料660円 中国研修:昼食代7,000円
					負担金	100,000	60,495	39,505	訪問リハ:54,000円 中国研修:6,000円、手数料495円
					返金	0	330	-330	参加費誤納返金330円
	予備費	5,000	0	5,000					



学術部	674,000	739,000	661,138	77,862	事務用品費	24,000	10,658	13,342	スタッフ腕章9,000円 学会:1,658円
					通信費	7,000	13,342	-6,342	郵送費・切手代13,342円
					報償費	174,000	174,150	-150	座長9,400円、手数料1,210円 報償費63,000円、手数料2,640円 旅費97,900円
					会議費	64,700	23,620	41,080	会場費23,620円
					旅費 交通費	109,300	102,830	6,470	18回学会:旅費84,900円 手数料495円 19回学会:旅費16,500円 手数料935円
					需用費	320,000	313,111	6,889	需用費312,451円 手数料660円
					勉強会活動費	30,000	16,980	13,020	勉強会活動費15,000円 手数料1,980円
					返金	0	3,385	-3,385	参加費誤納返金3,385円
					雑費	0	3,062	-3,062	所得税誤納分3,062円
					予備費	10,000	0	10,000	
教育部	222,000	155,000	109,883	45,117	事務用品費	8,000	0	8,000	事務用ファイル0円
					通信費	5,000	660	4,340	振込み料(講師料振込3名)
					報償費	78,000	66,000	12,000	現職者共通研修講師48,000円 事例報告指導18,000円
					会議費	10,000	5,000	5,000	現職者共通研修5,000円
					旅費 交通費	34,000	10,500	23,500	現職者・事例報告8,000円 生涯教育会議2,500円
					需用費	20,000	26,570	-6,570	MTDLP:食糧費26,570円
					返金	0	1,153	-1,153	R3年度基金への返金済153円 参加費誤納返金1,000円
領域対策部	100,000	100,000	76,850	23,150	事務用品費	1,000	0	1,000	
					通信費	5,100	3,520	1,580	振込手数料3,520円
					報償費	49,500	43,500	6,000	報償費42,000円 web日当1,500円
					会議費	0	0	0	
					旅費 交通費	24,500	17,500	7,000	スタッフweb日当17,500円
					需用費	14,900	12,330	2,570	昼食 講師3,000円、スタッフ4,200円 講師土産代 5,130円
					予備費	5,000	0	5,000	

地域包括ケア 対策委員会	30,000	160,000	16,162	143,838	通信費	30,000	1,388	28,612	手数料
					需用費	30,000	0	30,000	
					旅費 交通費	100,000	2,500	97,500	災害研修
					負担金	0	12,000	-12,000	
					返金	0	274	-274	R3年度基金への返金済274円
認知症対策委員会	55,000	55,000	9,602	45,398	需用費	55,000	9,180	45,820	食糧費9,180円
					返金	0	422	-422	R3年度基金への返金済422円
事業活動支出計 (B)	3,288,000	3,394,000	2,276,270	1,117,730					
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	165,000	59,000	998,525	-939,525					

令和4年度決算書(特別会計)

自 令和 4年4月 1日

至 令和 5年3月31日

科 目	予算額	決算額	差額	
1. 事業活動収入				
鳥取県地域医療介護総合確保基金	1,407,000	1,407,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費 542,000 地域包括ケアシステム研修事業費 233,000 チームケアリーダー育成研修事業 632,000
研修会参加費	137,000	137,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 71,500 地域包括ケアシステム研修事業 29,500 チームケアリーダー育成研修事業 36,000
負担金	52,487	52,487	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 26,723 地域包括ケアシステム研修事業 16,162 チームケアリーダー育成研修事業 9,602
収入合計	1,596,487	1,596,487	0	

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差額	小科目	金額	積算内訳
2. 事業活動支出						
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	640,223	640,223	0	報酬	54,000	【日当】54,000円(基金) ・生活行為向上マネジメント研修会34,000円 ・MTDLPステップアップ研修20,000円
				報償費	328,000	【講師謝金】328,000円(基金) (11/12¥88,000+12/5¥64,000+2/5¥176,000)
				旅費	122,200	【研修旅費】32,000円(基金) ・MTDLPステップアップ研修32,000円 【委員会旅費】30,200円(基金) ・全県25,200円、・事前通信テスト500円 ・事前打ち合わせ会議4,500円 【出張日当】60,000円(基金) ・拡大連絡会議30,000円 ・中国ブロック協議会30,000円
				需用費	42,263	【研修会講師食糧費】7,000円(基金) 【消耗品費】2,613円(基金) 【印刷製本費】6,080円(基金) 【講師茶菓子代】20,970円(県士会) 【研修会スタッフ食糧費】5,600円(県士会)
				役務費	9,951	【通信運搬費】5,258円(基金) 【手数料】4,693円(基金)
				使用および賃借料	22,110	【zoom使用料】22,110円(基金)
				返金	61,699	R3年度基金への返金済153円(県士会) R4年度基金への返金予定61,546円(基金)
地域包括ケアシステム研修事業	278,662	278,662	0	報酬	123,000	【日当】123,000円(基金) ・大研修会10,000円 ・人材育成研修会8,000円 ・運転と作業療法研修会30,000円 ・全国推進会議75,000円
				報償費	25,000	【講師謝金】25,000円(基金) ・大研修会8,000円 ・人材育成研修会9,000円 ・運転と作業療法研修会8,000円
				旅費	41,500	【委員・スタッフ旅費】41,500円 ・地域包括委員会6,000円(基金) ・運転と作業療法委員会29,500円(基金) ・Eブロックミーティング会議1,500円(基金) ・福生在宅ケア連携の会2,000円(基金) ・災害支援研修会2,500円(県士会)
				需用費	1,260	【印刷製本費】1,260円(基金) ・大研修会1,260円
				役務費	6,146	【通信運搬費】6,146円 ・手数料1,230円(基金) ・書類郵送代3,528円(基金) ・ハスマーケット手数料1,003円(県士会) ・手数料385円(県士会)
				負担金	12,000	【負担金】12,000円(県士会) ・JRAT設立記念講演会負担金:12,000円
				返金	69,756	R3年度基金への返金済274円(県士会) R4年度基金への返金予定69,482円(基金)

チームケアリーダー育成研修事業	677,602	677,602	0	報酬	36,500	【研修スタッフ日当】14,000円(基金) ・第20回6,000円、・第21回8,000円 【研修派遣日当】22,500円(基金) ・とっとり方式リーダー育成7,500円 ・協会情報交換会15,000円
				報償費	35,000	【講師謝金】35,000円(基金) ・第20回20,000円、・第21回15,000円
				旅費	51,340	【講師旅費】28,340円(基金) ・第20回28,340円 【委員・スタッフ旅費】23,000円(基金) ・委員会交通費4,000円 ・研修会交通費3,500円 ・委員業務交通費15,500円
				需用費	75,239	【食糧費】9,180円(県士会) 【消耗品】11,769円(基金) 【印刷製本費】54,290円(基金)
				役務費	25,606	【通信運搬費】21,632円(基金) ・封筒等21,632円 【手数料】3,974円(基金)
				使用および賃借料	54,500	【会場費】5,000円(基金) ・第20回5,000円 【研修機器使用料】49,500円(基金) ・研修機器使用料49,500円
				返金	399,417	R3年度基金への返金済422円(県士会) R4年度基金への返金予定398,995円(基金)
事業活動支出計	1,596,487	1,596,487	0			
事業活動収支差額	0	0	0			

正味財産増減計算書

自 令和4年4月1日  
至 令和5年3月31日

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入		552,333	334,509	217,824
	研修会収入	271,333	233,610	37,723
	学会収入	281,000	100,899	180,101
	その他の収入	0	0	0
会費収入		2,619,000	2,115,000	504,000
	正会員会費収入	2,609,000	2,105,000	504,000
	賛助会員会費収入	10,000	10,000	0
補助金収入		1,696,487	1,337,805	358,682
	補助金収入	1,696,487	1,337,805	358,682
雑収入		3,462	10	3,452
	雑収入	3,462	10	3,452
経常収益計(A)		4,871,282	3,787,324	1,083,958

単位:(円)

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
(2) 経常費用				
① 管理運営部門		776,523	923,535	-147,012
	事務局支出	509,775	660,365	-150,590
	財務部支出	208,344	216,087	-7,743
	規約委員会支出	0	0	0
	倫理委員会支出	0	0	0
	総会議事運営委員会支出	49,254	44,083	5,171
	選挙管理委員会支出	9,150	3,000	6,150
② 事業運営部門		3,096,234	2,446,916	649,318
	渉外部支出	23,899	1,906	21,993
	広報部支出	188,368	347,118	-158,750
	事業部支出	413,845	378,955	34,890
	学術部支出	661,138	217,012	444,126
	教育部支出	109,883	75,422	34,461
	領域対策部支出	76,850	82,935	-6,085
	地域包括ケア対策委員会支出	16,162	770	15,392
	認知症対策委員会支出	9,602	4,993	4,609
	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業	640,223	498,042	142,181
	地域包括ケアシステム研修事業	278,662	173,770	104,892
	チームケアリーダー育成研修事業	677,602	665,993	11,609
経常費用計(B)		3,872,757	3,370,451	502,306
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		998,525	416,873	581,652
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益		( 0)	( 0)	( 0)
経常外収益計(D)		0	0	0
(2) 経常外費用		( 0)	( 0)	( 0)
経常外費用計(E)		0	0	0
当期外経常増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		998,525	416,873	581,652
一般正味財産期首残高(H)		5,524,840	5,107,967	416,873
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		6,523,365	5,524,840	998,525
II 正味財産期末残高		6,523,365	5,524,840	998,525

## 監査報告書

令和5年4月9日

一般社団法人鳥取県作業療法士会  
会長 段 敬史 様

一般社団法人鳥取県作業療法士会

監事 花倉 敏文  
監事 江原 貴子  
監事 小山 久美子



私たち監事は、令和4年度における鳥取県作業療法士会の事業を監査したので、その結果について以下の通り報告いたします。

### I. 監査方法の概要

令和4年度に開催された理事会に出席し、事業の報告を聴取しました。また、令和4年度事業報告書、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計画書）、財産目録、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計画書）の附属明細書、収支計算書を閲覧するとともに、執行状況を聴取するなど、必要な監査手続きを実施しました。

### II. 監査の結果

#### 1. 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 業務の執行においても法令及び定款に従い、正しく遂行しているものと認めます。

#### 2. 計画書類及びその附属明細書の監査結果

計画書類及びその附属明細書は、法人の状況を適正に表示しているものと認めます。

### III. 監事の意見

令和4年度は、コロナ禍の影響に配慮しながら Web、ハイブリッド等を交え実情に沿った事業活動を展開しました。地域支援・行政・教育・コンプライアンスへの対処など幅広い分野で適正に事業が遂行できたと考えます。令和5年度においても、会員の皆様には会費納入をはじめ、法人からの依頼や要請事項につきましては速やかに対応いただき、また、研修会参加等自己研鑽に積極的に取り組んでいただき、法人の事業が迅速かつ円滑に遂行・発展できますことを望みます。

以上

### 第3号議案 役員改選（役員選出）の件

#### 1. 令和5年度理事会立候補当選者・推薦者

当選者（敬称略）

YMCA 米子医療福祉専門学校	梅津 清司郎
YMCA 米子医療福祉専門学校	高梨 悠一
デイサービスつむぎ	原田 伸吾
SOI STANCE	小山 雅之
皆生温泉病院	永見 忠志
自宅	田中 寿美
錦海リハビリテーション病院	川上 紘司
YMCA 米子医療福祉専門学校	田住 秀之
YMCA 米子医療福祉専門学校	菊本 理恵
サンライズ名和	段 敬史
三朝温泉病院	松本 周三
錦海リハビリテーション病院	北山 朋宏
錦海リハビリテーション病院	平野 正樹
清水病院	西村 純一
	以上 14 名

理事会選挙推薦候補者（敬称略）

老健 はまかぜ	土井 宣幸
デイサービスつむぎ通所発達支援	来間 寿史
	以上 2 名

令和5年度鳥取県作業療法士会理事 計 16 名選出

### 第4号議案 その他



令和5年度 事業計画

【管理運営部門】

◎ 事務局

1. 会議の開催
  - (1) 令和5年度定時社員総会：令和5年5月21日(日)
  - (2) 理事会：総会時含め年7回
  - (3) 事務局会議
  - (4) 三役会議
2. 会員管理
  - (1) 会員の入退会管理
  - (2) 賛助会員への対応：請求書の送付、連絡調整
  - (3) 入会促進活動：県内養成校へ入会案内と入会申込書の送付
3. 文書管理
  - (1) 内外文書の受取・保管
  - (2) 会員への情報配信：事務局より登録いただいている会員メールアドレスへ適宜情報配信
  - (3) 個人情報の保護に関すること：役員改選時の研修会開催、安全管理措置に関するチェックの実施・保存
4. 作業療法士に関する全国組織との連携
  - (1) 日本作業療法士協会
    - ① 日本作業療法士協会令和5年度定時社員総会：代議員
    - ② 47都道府県委員会(年3～4回)
    - ③ 日本作業療法士会からのアンケート回答
    - ④ 協会員＝士会員に向けての情報共有と発信、定款・諸規定の見直し
5. 関係機関との渉外、連携・調整に関わること
  - (1) 会長活動
    - ① 養成校への入学式・卒業式出席または祝電の送付
    - ② 関係機関との会議出席
  - (2) 鳥取県社会福祉協議会：企画会議、研修講師派遣調整
  - (3) 県内市町村等への介護認定審査会・障害区分認定審査会委員の推薦
  - (4) 作業療法士としての地域活動調査
6. その他法人の管理運営に関すること
  - (1) 法人市民税・県民税：減免申請手続き
  - (2) 会員、他県士会、他団体等からの問い合わせ対応：随時
  - (3) 弁護士への相談：随時
  - (4) 法令、制度変更に伴う書類等の見直し
  - (5) 役員改選に伴う諸手続き：法務局への変更登記申請、ホームページ及び関連書類の作成・修正

◎ 財務部

1. 会費徴収について
  - (1) 会費徴収
  - (2) 未納者への督促
2. ボランティア保険加入手続き  
県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う
3. 備品管理台帳の更新と各部備品の管理
4. 予算事務に関する特記事項
  - (1) 財務部  
PC購入代金の事務用品費として200,000円計上する

- (2) 事業部  
福利厚生費として 50,000 円計上する
- (3) 子ども（仮称）委員会  
新設委員会の運営費として 30,000 円計上する

#### ◎ 規約委員会

- 1. 規約委員会の適宜開催
- 2. 施行則・規程内容の追加・修正、削除の作業及び問い合わせ
- 3. 各専門部との連携

#### ◎ 倫理委員会

- 1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
- 2. 相談への対応
- 3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

#### ◎ 総会議事運営委員会

- 1. 定時社員総会の議案書の作成。※議事録の作成（事務局）
- 2. 定時社員総会の開催
  - (1) 期日：令和 5 年 5 月 21 日（日） 10：00～11：00
  - (2) 会場：まなびタウンとうはく 研修室
  - (3) 内容：令和 4 年度事業報告書承認  
令和 4 年度事決算報告書承認及び監査報告  
役員改選（役員選出）の件  
令和 5 年度事業計画及び予算
  - (4) その他：議長選出、書記任命

#### ◎ 選挙管理委員会

- 1. 委員会の開催  
新委員への引継ぎ、マニュアルの確認
- 2. 選挙方法について検討  
届け出、投票方法等について（ネット活用なども含め）

### 【事業部門】

#### ◎ 広報部

- 1. 士会ニュース  
発行回数 年 4 回（6 月、9 月、11 月、翌 2 月） 119 号～122 号
- 2. 広報資料取り寄せ  
日本作業療法協会より必要時に取り寄せ
- 3. 啓発・広報活動
  - (1) 啓発活動
    - ① 士会会員向け  
情報発信等（例；アーカイブ動画）
    - ② 県民向け  
作業療法を紹介する機会を設けるよう検討  
（例：作業療法の日（9 月 25 日）等）
- 4. 広報媒体の管理・運用
  - (1) 県士会ホームページの管理・運用
  - (2) SNS の管理運用
- 5. 日本作業療法士協会との連携

会議への参加など必要に応じて対応。

## 6. その他

### ◎ 事業部

1. 総会后研修会
  - (1) 期日：未定
  - (2) 会場：未定
  - (3) 内容：未定
2. 訪問リハ・地域リーダー会議
  - (1) 期日：未定
  - (2) 会場：未定
  - (3) 出席者：未定
3. 中国地区作業療法士会合同研修会
  - (1) 期日：未定
  - (2) 会場：未定（鳥取県）
  - (3) 内容：未定
4. 訪問リハビリテーション実務者研修会
  - (1) 期日：未定
  - (2) 会場：未定
  - (3) 内容：未定
5. 士会員への福利厚生

### ◎ 学術部

1. テーマ別勉強会
  - ・ 東部地区 1 テーマ 東部地区全般勉強会
  - ・ 東・中部地区 1 テーマ 特別支援教育（東部・中部）
  - ・ 中部地区 2 テーマ 中部精神科勉強会、中部地区合同勉強会
  - ・ 西部地区 5 テーマ 西部精神科勉強会、西部福祉用具・住環境勉強会、CVA 勉強会、作業を考える会、特別支援教育（西部）
2. 第 19 回鳥取県作業療法学会
  - (1) 会期：2023 年 12 月 9 日（土）対面開催予定
  - (2) 会場：さなめホール（米子市淀江文化センター）
  - (3) 内容：
    - ① 学会テーマ：「作業療法 × 次世代テクノロジー ～作業療法の未来を創る～」
    - ② 学会長講演：射場靖弘（鳥取大学医学部附属病院）
    - ③ 特別講演：竹林崇氏（大阪公立大学）、林園子氏（ICT リハビリテーション研究会）
    - ④ イベント：現在調整中
    - ⑤ 一般演題：発表形式、演題数など調整中（事例登録としての発表も可能）
  - (4) 実行委員：

学会長	射場靖弘（鳥取大学医学部附属病院）
実行委員長	村瀬良知（よなご脳神経クリニック）
副実行委員長	田村理恵（鳥取大学医学部附属病院）
広報・接待	門脇翔子（大山リハビリテーション病院）
広報・接待	鳥飼桃子（株式会社つむぎ）
会計	仲田奈生（YMCA 米子医療福祉専門学校）
会場	山本未来（錦海リハビリテーション病院）
会場	宍戸順子（鳥取大学医学部附属病院）
学会誌	田中 卓（養和病院 介護医療院）
学会誌	日野祐樹（養和病院）

演題/査読 平野正樹（錦海リハビリテーション病院）

学術部長/会計 高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

(5) 実行委員会の開催：

3. 第 20 回鳥取県作業療法学会（中部）

- (1) 学会長の選出
- (2) 実行委員会委員の選出
- (3) 実行委員会の開催

4. 査読委員会

- (1) 査読委員：池淵欽斗（米子病院）、松本周三（三朝温泉病院）、  
宮脇淳（米子東病院）、平野正樹（錦海リハビリテーション病院）、  
高梨悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）

(2) 内容

- ① 査読委員会の開催（年 4 回）
- ② 査読者登録制度の更新
- ③ 査読者の登録および管理
- ④ 査読者の選定と査読依頼
- ⑤ 査読結果の集約  
（\*採択・不採択の最終判断は、学会長と査読委員長との協議で行う）
- ⑥ 県学会演題採択に関する投稿規定作成および修正

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

- (1) ホームページ「生涯教育制度について」更新
- (2) 基礎研修ポイント管理・発行
  - ① 士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
  - ② 現職者共通研修修了ポイント発行
  - ③ 現職者選択研修会ポイント発行
  - ④ 鳥取県作業療法学会ポイント発行
  - ⑤ 基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行

2. 生涯教育制度に関する開催

(1) 現職者共通研修会

期日と会場（予定）	区分	テ ー マ	講 師（予定）
① 前期 6 月末に予定 会場：西部 YMCA 米子	I	作業療法生涯教育概論	北山 朋宏：錦海リハ病院
		職業倫理	長田 貴徳：尾崎病院
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす
		作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA 米子
② 後期 10 月中頃に予定 会場：東部 調整中	II	作業療法の可能性	宮城 直子：尾崎病院
		事例報告と事例研究	梅津清司郎：YMCA 米子
	IV	日本と世界の作業療法の動向	藤田 恵子：セラトピア
		実践のための作業療法研究	高梨 悠一：YMCA 米子

(2) 現職者選択研修会

2023 年鳥取県は身体障害領域を開催予定

(3) 臨床実習指導者講習会

年 1 回の開催予定

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

- (1) 現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会より「事例報告会認定申請」を行い、  
教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）
- (2) 基礎研修会認定（テーマ別勉強会より申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）
- (3) SIG 等登録認定（SIG として認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者
  - (1)生涯教育制度推進担当者会議会への出席
  - (2)生涯教育受講登録システムへの登録
5. 会員への情報伝達
  - (1)県士会ニュースへの掲載
  - (2)ホームページへの掲載
  - (3)その他
6. 他部との連携・協力
  - (1)学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
  - (2)事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
  - (3)領域対策部：現職者選択研修会など
  - (4)事務局：会員管理事務など
  - (5)特設委員会：士会主催研修会など

#### ◎ 生活行為向上マネジメント委員会

1. 令和5年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業
2. 定期委員会（年7回）
  - (1)生活行為向上マネジメント研修会 企画・運営
  - (2)生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
  - (3)生活行為向上マネジメント広報活動
  - (4)生活行為向上マネジメント指導者養成

#### ◎ 地域包括ケアシステム委員会

1. 令和5年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業
  2. 研修会開催
    - (1)地域包括ケアシステム人材育成別研修会（1回）
      - ①テーマ：未定
      - ②開催日：未定
      - ③講師：未定
- 内 容：未定
- (2)地域包括ケアシステム大研修会（1回）
    - ①テーマ：防災関連の内容を含む
    - ②開催日：未定
    - ③講師：未定
    - ④内 容：未定
  - (3) 運転と作業療法研修会（運転支援基礎編）
    - ①テーマ：運転支援における急性期、回復期、維持期の連携について
    - ②開催日：令和5年7月予定
    - ③講師：外部講師予定
    - ④内 容：講義、グループワーク
  - (4) 運転と作業療法研修会（代償手段基礎編）
    - ① テーマ： 地域移動支援における環境課題と今後の展望
    - ② 開催日：令和6年1月予定
    - ③ 講 師：岩崎大輔（養和病院）、公的機関からの外部講師
    - ④ 内 容：講義、事例検討3例
3. 災害時対応マニュアルの作成協議
    - (1)日本作業療法士協会災害シミュレーションの実施
    - (2)会員の安否確認方法、連絡・報告系統作成の検討
    - (3)災害時マニュアルの作成検討

- (4) 他県士会・多団体との災害時連携の確認（徳島県・POST・JRAT など）
4. 地域包括ケアシステム協力体制の整備推進  
各地域の OT 活用調査・情報共有・課題抽出と対応の検討
6. パンフレット・フレイル予防啓発チラシの見直しと管理  
県・各地域包括支援センター・県士会員・その他各関係機関など状況に合わせ配布
7. 担当者会議
- (1) 地域包括ケア委員会・災害対策部 6 回  
自動車運転研修会全体会 5 回 地区別 5 回
- (2) 委員メンバー選出
- 委員長：永見忠志（皆生温泉病院）  
副委員長：平野正樹（錦海リハビリテーション病院）  
東部委員：責任者 原田伸吾（デイサービスつむぎ）  
大渕賢一（鳥取赤十字病院）、藤原礼奈（鳥取赤十字病院）  
涌島恵理（鳥取療育園）  
中部委員：責任者 藤田恵子（老健セラトピア）  
三浦純（三朝温泉病院）  
西部委員：責任者 村瀬良知（米子脳神経クリニック）  
加藤淳美（サンライズ名和）、三上将史（山陰労災病院）  
災害対策： 平野正樹（錦海リハビリテーション病院）  
藤田恵子（セラトピア）、永見忠志（皆生温泉病院）  
磯江慎吾（とつとの杜こどもハビリテーションクリニック）
- 自動車運転研修会企画・実施メンバー
- 責任者兼西部地区委員長 岩崎大輔（養和病院）  
西 部 射場靖弘（鳥取大学病院）、河場航（山陰労災病院）  
原田あゆ美（錦海リハビリテーション病院）、野々村賢（博愛病院）  
門脇翔子（大山リハビリテーション病院）  
中部地区委員長 幸田真（藤井政雄記念病院）  
中 部 中村貴紀（三朝温泉病院）、西東佳奈（三朝温泉病院）  
樋口由紀子（清水病院）、竹田佳弘（藤井政雄記念病院）  
東部地区院長 坂尻信幸（鳥取県立中央病院）  
東 部 中島直（尾崎病院）、福田哲也（NH0 米子医療センター）  
木下真実（鳥取生協病院）、井上雅人（鳥取県立中央病院）

## ◎ 認知症・メンタルヘルスケア推進委員会

1. 令和 5 年度鳥取県地域医療介護総合確保基金「チームケアリーダー育成研修事業」申請作業
2. 委員会開催(年 3 回)
- (1) 研修会企画・運営・受講登録
- (2) 認知症関連に携わる会員関与状況の把握
- (3) 認知症に関連する県内事業協力派遣・啓蒙
- (4) 日本作業療法士協会との連携  
(士会における認知症への取り組みを推進する担当者同士の情報交換会)
- (5) 精神科の作業療法、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの動向把握・関与
3. 研修会
- (1) 認知症研修会 3 回(西部地区研修 1 回、東中部地区研修 1 回  
精神科の作業療法または事業・地区課題に応じた研修会 1 回)
- (2) 認知症アップデート研修
- (3) 期日：未定
- (4) 会場：未定
4. 事業協力・派遣

- (1) 認知症施策に基づく各種事業への協力・派遣
- (2) 認知症の人と家族の会、認知症初期集中支援チーム員会議、認知症施策検討委員会等への派遣協力
- (3) 認知症支援に関する研修派遣・視察派遣
- (4) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに関する協議体、進捗状況の確認・調整

#### ◎こども発達支援推進委員会

1. 特別支援教育への協力
  - (1) 会員、学校との連絡調整、実施集計など
  - (2) 県、市町村教育委員会との連携
  - (3) 日本作業療法士協会との連携
2. 学童保育鳥取県連絡協議会との連携・協力
3. 日本筋ジストロフィー協会鳥取県支部 療育キャンプ協力

令和5年度予算書

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年3月31日

勘定科目			備考
大科目	予算額	小科目	金額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,700,000	年会費	2,700,000 5,000円×540名
研修会収入	420,000	第19回県学会	150,000 1,000円×120名、3,000円×10名
		現職者共通研修	60,000 2,000円×30名
		現職者選択研修	60,000 2,000円×30名
		臨床実習指導者講習会	150,000 3,000円×50名
補助金等の収入	0	助成金	0
		賛助費	0
雑収入	1,000	雑収入	1,000 預金利息
事業活動収入合計(A)	3,121,000		

勘定科目		予算額	小科目	備考
中	科 目			
II	投資活動収支の部			
	1. 投資活動収入			
	啓発グッズ等積立預金取崩収入	0		
	投資活動収入計 (D)	0		
	2. 投資活動支出			
	啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000		郵便振替預金内にて管理
	投資活動支出計 (E)	50,000		
	投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000		
III	予備費支出 (G)	200,000		
	当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 394,000		
	前期繰越収支差額 (I)	5,918,365		
	次期繰越収支差額 (J)=(H)+(I)	5,524,365		



2. 事業活動支出  
(1) 管理運営部門

(単位:円)

	予算額	勘定科目	金額	備考
事務局	800,000	事務用品費	50,000	事務用品10,000円 封筒作成費30,000円 変更登記事務書類5,000円 名刺5,000円
		通信費	60,000	法人携帯使用料45,000円、切手・振込15,000円
		会議費	6,000	理事会6回 施設利用費(1,000円×6回)
		旅費 交通費	375,000	理事会交通費135,000円(i回22,500円×6回) 代議員定時社員総会10,000円 47都道府県委員会200,000円 三役会議交通費10,000円 代表理事活動費9,000円 事務局業務10,000円 YMCA米子医療福祉専門学校入学、卒業式交通費500円×2
		需用費	20,000	三役会議昼食10,000円 代表理事活動手土産9,000円 茶菓子代1,000円
		法人税及び事業税	10,000	登録免許税10,000円
		顧問料	264,000	弁護士顧問料(22,000円×12か月)
		福利厚生費	15,000	電報(祝電)等
財務部	378,000	事務用品費	205,000	事務用品、PC購入200,000円
		通信費	26,000	wifi通信料14,000円、会計ソフト年料金7,000円、切手代(督促状)5,000円
		旅費 交通費	20,500	監査3,500円、財務部業務10,000円、税理士相談時4,000円、納税3,000円
		需用費	7,500	監査昼食1,000円×6名 監査、委員会開催茶菓子代
		相談料	66,000	税理士相談料
		保険料	53,000	ボランティア保険350円×150名、手数料
		規約委員会	2,000	事務用品費
		旅費 交通費	1,000	委員会交通費(500円×2名)
倫理委員会	2,000	事務用品費	1,000	ファイル、その他必要な事務用品
		通信費	1,000	切手、送料、電話料金
総会議事運営委員会	33,000	事務用品費	2,500	ファイル、その他事務用品
		通信費	1,000	
		報償費	4,000	総会リモートホスト謝金4,000円
		会議費	15,000	総会会場費(会場代、備品使用代)
		旅費 交通費	7,500	委員会7,500円(500円×5名)×3回分
		需用費	3,000	1000円×3回分
選挙管理委員会	18,000	事務用品費	2,500	ファイル、その他事務用品
		会議費	0	
		旅費 交通費	10,500	定期委員会開催(500円×7名)×3回分 ※選挙開催時臨時招集時:別途計上
		需用費	5,000	※選挙開催時:別途計上(選管5名+立会人2名700円×7名4,900円) ※選挙開催時:別途印刷費計上(70,000円予定)

## (2)事業運営部門

(単位:円)

	予算額	勘定科目	金額	備考
広報部	388,000	事務用品費	30,000	印刷費(依頼文書,チラシ等):10,000円 協会より資料取り寄せ費:10,000円 備品・消耗品購入(USBメモリ、整理ケースなど):10,000円
		通信費	81,600	ATM振込手数料:5,000円 県士会ニュース送料(ヤマト運輸):13,000円×4回 啓発活動に関わる郵送料:24,000円
		報償費	56,000	啓発活動に関わる報酬:56,000円
		会議費	0	
		需用費	152,000	県士会ニュース委託費:印刷20,000円×4回、封入8,000円×4回 啓発活動:40,000円(制作、会場、茶菓子、協力者用など)
		ホームページ管理費	31,900	月額2,200円×12か月=26,400円、ドメイン更新料5,500円(年1回)
		旅費交通費	31,500	交通費:総会1,500円、会議(WEB)20,000円 啓発活動に関わる日当:10,000円
		予備費	5,000	
事業部	295,000	事務用品費	3,000	事業部:3,000円
		通信費	12,000	事業部:2,000円、中国研修:10,000円
		報償費	60,000	総会後研修:講師謝礼30,000円 中国研修:講師謝礼30,000円
		会議費	30,000	中国研修:会場費30,000円(15,000円×2日)
		旅費交通費	65,000	総会後研修:Web日当5,000円、講師交通費5,000円 訪問リハ会議(5月):Web会議日当10,000円(2,500円×2名×2日間) 訪問リハ実務者研修(2月):Web会議日当5,000円(2,500円×2名) 中国研修:Web日当30,000円(500円×10名×6回) 中国研修:当日旅費10,000円(500円×20名)
		需用費	20,000	中国研修:昼食代20,000円(20名×1000円)
		負担金	50,000	訪問リハ:50,000円
		福利厚生費	50,000	
		予備費	5,000	
学術部	647,000	事務用品費	15,000	事務用品5,000円、学会:10,000円
		通信費	4,000	郵送料2,000円、学会2,000円
		報償費	123,500	特別講演 報償費2名 36,000円、旅費2名 60,000円、宿泊2名 25,000円 学術集会 座長旅費 2,500円(500円×5名)
		会議費	155,500	会場費(当日)127,000円 会場費(前日)18,000円、 会場関連費 5,000円、講師打合せ会場費 5,000円
		旅費交通費	109,000	学会:委員旅費65,000円、当日委員旅費9,000円、当日スタッフ旅費5,000円 査読:委員旅費10,000円、次期学会:委員旅費20,000円
		需用費	185,000	学会:講師等用茶菓子20,000円、講師2名昼食3,000円、座長5名昼食5,000円 実行委員12名昼食12,000円、当日スタッフ10名昼食10,000円 役員・委員前日夕食15,000円、委員茶菓子代5,000円 花代10,000円、ポスター・チラシ代25,000円 学会誌印刷製本 80,000円(送料込)
		勉強会活動費	50,000	勉強会活動費・研修会支援費50,000円
		予備費	5,000	
教育部	592,000	事務用品費	11,000	現職者共通研修:事務用ファイル 現職者選択研修:事務用品1,000円 MTDLP:文房具、ファイル等
		通信費	20,100	現職者共通研修:振込み料、切手 現職者選択研修:切手代1,000円振込手数料3,500円 臨床実習指導者研修:郵送料、振込手数料
		報償費	327,500	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 事例報告指導30,000円(6,000円×5名) 現職者選択研修48,000円 県外36,000円 県内12,000円(6,000円×2名) 現職者選択研修:講師web日当1,500円(500円×3名) 臨床実習指導者研修:世話人謝礼金200,000円
		会議費	35,000	現職者共通研修:前期(西)10,000円、後期(東)10,000円 MTDLP:講師研修会打ち合わせ費(5,000円×3名)
		旅費交通費	52,400	現職者共通前期西部5,000円、後期東部11,900円、事例報告2,500円 現職者選択研修:スタッフweb日当(500円×6名×6回) 臨床実習指導者研修:Web日当(事前通信テスト、講習会当日)15,000円 現職者選択研修:昼食講師3,000円(1,000円×3名) スタッフ6,000円(1,000円×6名)
		需用費	141,000	現職者選択研修:講師土産代 7,000円 臨床実習指導者研修:昼食代14,000円、資料代56,000円 MTDLP:委員食糧費:40,000円(昼食30,000円、夕食10,000円) 研修茶菓子:15,000円(委員茶菓子:3,000円、講師等茶菓子12,000)
		予備費	5,000	
地域包括ケアシステム	50,000	需用費	30,000	地域包括ケアに関するパンフレット200~300部作成
		会議費	20,000	鳥取JRA協力金
精神・認知症(仮称)	30,000	需用費	30,000	委員昼食10,000円(研修3回) 研修茶菓子20,000円
子ども(仮称)	30,000	事務用品費	1,800	資料ファイル、印刷用紙代
		通信費	20,000	学校(特別支援教育関係)84円×213通 協会資料取り寄せ
		旅費交通費	8,200	県教育委員会訪問1,200円×1名、500円×2名 筋ジスキャンプ参加者交通費2,000円(500円×4人) スタッフ会議(WEB)日当500円×4名×2回
事業活動支出計(B)	3,265,000			
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△144,000			

令和5年度組織図

令和5年度一般社団法人鳥取県作業療法士会 組織図

